

第46回 北信越国民スポーツ大会

2025.8.22^{FRI}▶24^{SUN}



カヌー (SP) 競技プログラム



主催 (公財) 日本スポーツ協会 富山県 長野県 福井県 新潟県 石川県
富山県教育委員会 長野県教育委員会 福井県教育委員会 新潟県教育委員会 石川県教育委員会
(公財) 富山県スポーツ協会 (公財) 長野県スポーツ協会 (公財) 福井県スポーツ協会 (公財) 新潟県スポーツ協会 (公財) 石川県スポーツ協会
共催 会場地市町 会場地市町教育委員会 **後援** スポーツ庁 **主管** (公財) 富山県スポーツ協会 富山県各競技団体



この大会は、競輪の補助を受けて開催します。

開 催 の 趣 旨

国民スポーツ大会の趣旨に則り、その予選会として北信越地域の人々に広くスポーツを普及し、スポーツ精神の高揚を図り、健康増進と体力向上を目指し、併せて5県の親睦と交流を深めるとともに、地方のスポーツ振興及び文化の発展に寄与することを目的とする。

スポーツを行う者の心得（「日本スポーツ協会スポーツ憲章」抜粋）

- スポーツを愛し、楽しむために、自発的に行う。
- 競技規則はもとより、自らの属する団体の規則を遵守し、フェアプレーの精神を尊重する。
- 常に相手を尊重しつつ、自己の最善を尽くす。
- アンチ・ドーピングに関する規定を遵守する。

目 次

若 い 力	・ ・ ・ ・ ・ 1	式典次第・諸会議日程・大会日程	・ ・ ・ ・ ・ 8
富 山 県 民 の 歌	・ ・ ・ ・ ・ 1	競 技 日 程	・ ・ ・ ・ ・ 9
大 会 長 あ い さ つ	・ ・ ・ ・ ・ 2	競 技 組 合 せ 表	・ ・ ・ ・ ・ 10
富 山 県 議 会 議 長 祝 辞	・ ・ ・ ・ ・ 3	競 技 成 績	・ ・ ・ ・ ・ 12
富山県カヌー協会会長あいさつ	・ ・ ・ ・ ・ 4	監 督 ・ 選 手 名 簿	・ ・ ・ ・ ・ 15
小 松 市 長 歓 迎 の こ と ば	・ ・ ・ ・ ・ 5	カ ヌ ー 競 技 の 見 方	・ ・ ・ ・ ・ 17
競 技 会 役 員	・ ・ ・ ・ ・ 6	会 場 案 内 図	・ ・ ・ ・ ・ 19
競 技 役 員	・ ・ ・ ・ ・ 7	宿 舎 一 覧 ・ 大 会 本 部 等	・ ・ ・ ・ ・ 20

若 い 力

日本体育協会選定

佐伯孝夫 作詞

高田信一 作曲

一、若い力と感激に

燃えよ若人 胸を張れ

歓喜あふれる ユニフォーム

肩にひとひら 花が散る

花も輝け 希望にみちて

競え青春 強き者

二、薫る英気と 純情に

瞳あかるい スポーツマン

僕のよろこび 君のもの

挙る凱歌に 虹が立つ

友情身にしむ 熱こそいのち

競え青春 強き者

富 山 県 民 の 歌

辻本 俊夫 作詞
牧野 良二 作曲

一、仰ぎ見る 立山連峰

朝空に 輝くところ

躍進の 理想かざして

高らかに 生産の歌

声そろえ 声そろえ

共にうたわん 共にうたわん

ああ われら われら富山 富山県民

二、かもめ飛ぶ 有磯の海に

新潮の 花咲くところ

平和呼ぶ 祈こめて

親しき 世紀の文化

相むつみ 相むつみ

共に築かん 共に築かん

ああ われら われら富山 富山県民

三、豊かなる みのりの山野

川清く 流るるところ

すこやかに 大地をふみて

火と燃ゆる 希望を胸に

手をとって 手をとって

共に進まん 共に進まん

ああ われら われら富山 富山県民

あ い さ つ



第 46 回北信越国民スポーツ大会 会長

公益財団法人富山県スポーツ協会 会長

富山県知事 **新 田 八 朗**

このたび、第 46 回北信越国民スポーツ大会を富山県において盛大に開催できますことは、大変ありがたく、心からお礼申し上げます。

また、北信越各県の選手・監督並びに役員の皆様には、ようこそ富山県へお越しくださいました。県民を代表して心から歓迎申し上げます。

本県では、今年 4 月に「富山県スポーツ推進プラン」を改定し、県民一人ひとりのウェルビーイング向上のため、それぞれの目的や好みに応じてスポーツに親しみ、楽しむことができる環境づくりや、本県選手が全国や世界の檜舞台で活躍できる競技力向上のための施策を積極的に推進しています。

こうしたなか、北信越地域最大のスポーツの祭典である本大会が開催され、各県代表の精鋭の皆様が、郷土の誇りを胸に第 79 回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」の出場権獲得をかけた熱戦が繰り広げられますことは、競技力向上はもとより、本県のスポーツ振興を図るうえで、誠に意義深いものがあります。

選手の皆様には、日頃の練習の成果を存分に発揮されますとともに、お互いの交流を深められ、心に残るすばらしい大会となりますようお祈り申し上げます。

また、県外からお越しの皆様には、このたびのご来県を機に、美しく豊かな自然や多彩な歴史・文化、「寿司といえば、富山」と自負する新鮮な海の幸・山の幸など、本県の魅力の数々を大いに実感していただき、「富山ファン」となっていただければ幸いです。

結びに、本大会の開催に力を尽くされました会場地の市町をはじめ、関係の皆様にも深く敬意を表しますとともに、大会のご成功と選手の皆様のご活躍を心からお祈り申し上げます。

祝 辞



富山県議会議長 武 田 慎 一

北信越地方最大のスポーツの祭典である第 46 回北信越国民スポーツ大会が、ここ富山県において盛大に開催されるにあたり、富山県議会を代表いたしまして、選手・監督並びに役員の皆様方のご来県を心から歓迎申し上げます。

本大会は、第 79 回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」への出場権をかけた大会であるとともに、北信越地域のスポーツの振興と発展に大きく寄与してきた伝統ある大会であります。選手の皆様方の競技に全力で取り組まれる姿や熱戦の数々は、県民に大きな感動と希望を与えるものと確信しております。

選手の皆様方におかれましては、日頃の練習の成果を遺憾なくされ、大いに活躍されるとともに、各県から参加された選手・役員の皆様方と交流を深められ、実り多き大会となりますようご期待申し上げます。

また、県外からお越しの皆様方には、この機会に本県が誇る美しい自然、新鮮な食材、個性豊かな伝統文化など、多彩な魅力にふれていただき、本県に対するご関心をお寄せいただく契機となれば幸いに存じます。

結びに、本大会の開催にご尽力されました関係の皆様方に深く敬意を表しますとともに、本大会のご成功と、選手の皆様方のご健闘、そしてご来県の皆様方のご多幸を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

あ い さ つ



富山県カヌー協会
会長 野上 浩太郎

第 46 回北信越国民スポーツ大会カヌー競技会が、各県より選び抜かれた選手、監督、役員の皆様をはじめ、関係の皆様をお迎えし、盛大に開催されますことをお慶び申し上げますとともに、心より歓迎申し上げます。

さて、スラローム・ワイルドウォーター競技は、今回が初めての会場となる“和田川カヌー競技場”で開催されます。この会場は、25年以上カヌー競技の練習場として親しまれており、練習に必要なゲートが常設されている日本でも数少ないコースとして、県内外から多くのオリンピック選手や日本代表選手が練習で訪れている会場です。

また、スプリント競技は“石川県小松市木場潟カヌー競技場”にて開催されます。この会場は、文科省よりナショナルトレーニングセンターに指定されており、日本カヌー界を代表するコースとなっています。また、国際大会も多く開催されており、日本代表選手のトレーニング拠点となっている会場です。

選手の皆様には、これまでの練習の成果を存分に発揮され、素晴らしい成績を収められますことをご期待申し上げます。

結びに、本大会開催にあたりご尽力賜りました関係の皆様に対し、深く感謝申し上げますとともに、選手の皆様のご活躍と、大会の成功をご祈念申し上げ、私のあいさつといたします。

歓迎のことば



小松市長 宮 橋 勝 栄

第46回北信越国民スポーツ大会が、北信越各地から多くの選手、監督、役員の皆様をお迎えし、木場潟カヌー競技場において盛大に開催されますことは誠に喜ばしく、市民を代表して心から歓迎申し上げます。

水と緑の豊かな小松市では、加賀前田家三代利常公によってもたらされた茶道、華道、子供歌舞伎などの伝統文化が脈々と受け継がれ、日本遺産に認定された「石の文化」「北前船」、九谷焼などの伝統産業、建設機械を中心とする近代産業も盛んです。また、昨年北陸新幹線小松駅が開業し、小松空港、高速道路を含め、全国でも類まれな交通網を活かしたまちづくりに取り組んでおります。

本大会に参加される選手の皆様におかれましては、滋賀県で開催される「国民スポーツ大会」の出場権獲得を目指し、日頃鍛えた力と技を存分に発揮していただくとともに、北信越各地から参加されている選手の皆様と交流を図っていただければ幸いに存じます。

最後になりますが、大会の開催にご尽力いただきました関係各位に深く感謝を申し上げますとともに、大会のご成功と選手の皆様のご活躍を重ねてお祈り申し上げます。歓迎のことばといたします。

競 技 会 役 員

名誉会長 宮 橋 勝 栄

会 長 野 上 浩 太 郎

副 会 長 塚 田 一 郎 熊 谷 元 尋 佐 々 木 紀 重 森 俊 道

顧 問 南 藤 陽 一 山 本 民 夫 横 山 昭 博 安 井 敏 成

宮 本 光 明 山 崎 宗 良 伊 井 謙 治

参 与 山 口 裕 史 本 村 与 茂 杉 村 紀 子 桶 谷 則 之

委 員 長 橋 本 充

副委員長 近 藤 雅 晴 武 江 一 釜 田 涉 國 京 健 二

稲 田 真 人

委 員 中 川 英 北 村 一 世

高 木 信 寿 水 野 浩 黒 川 忍 松 崎 陽 祐

細 川 祥 平 山 崎 直 樹 加 藤 和 也 長 谷 川 博 一

荒 城 祐 佳 深 川 康 志 久 司 満 野 口 雄 慶

競 技 役 員

競 技 委 員 長 橋 本 充

競技副委員長 稲 田 真 人

総 務 委 員 長 深 川 康 志

審 判 長 水 野 浩

決 勝 審 判 員 加 藤 和 也 齋 藤 愉 加 碓 井 三 恵 子

 高 木 梢 水 池 千 晶 酒 井 裕 香 子

水 路 審 判 員 柳 本 正 澄 細 川 祥 平

発 艇 主 任 久 司 満

整 列 員 小 林 晃 弘

配 艇 員 筒 井 浩 美 上 田 美 雪

検 艇 員 前 田 博 司 大 畑 盤 里 松 井 洸 晟

救 助 員 松 井 弘 樹 筒 井 武 司

記 録 員 深 川 康 志 中 川 奈 緒 子

救 護 員 野 村 里 奈

競技役員 補 助 富山県カヌー協会より

式典次第

【開 始 式】

日 時：令和7年7月12日（土）
 日 時：午後16時00分より
 場 所：小松市木場潟カヌー競技場
 場 所：大会本部

次 第

1. 役員・選手団整列
2. 開 式 通 告
3. 競 技 会 開 始 宣 言
4. 国 歌 斉 唱
5. 若 い 力 斉 唱
6. 競 技 会 会 長 あ い さ つ
7. 歓 迎 の こ と ば
8. 競 技 上 の 注 意
9. 選 手 宣 誓
10. 閉 式 通 告
11. 役員・選手団解散

【表 彰 式・閉 会 式】

日 時：令和7年7月13日（日）
 午後12時00分より
 場 所：小松市木場潟カヌー競技場
 大会本部

次 第

1. 役員・選手団整列
2. 開 式 通 告
3. 成 績 発 表
4. 表 彰
5. 競 技 会 会 長 あ い さ つ
6. 競 技 会 終 了 宣 言
7. 閉 式 通 告
8. 役員・選手団解散

諸 会 議 日 程

会 議 名	期 日	時 間	場 所	電話番号
監 督 会 議	令和7年7月12日（土）	午後15時00分	木場潟カヌー競技場 大会本部	090-3296-8003 (水野携帯)

大 会 日 程

○令和7年 7 月12日（土）

- ・ 13:00～15:30 公式練習
- ・ 13:00～15:00 受付・検 艇
- ・ 15:00～ 監 督 会 議
- ・ 16:00～ 開 始 式

○令和7年 7 月13日（日）

- ・ 7:30～8:30 公式練習
- ・ 8:00～ 役 員 集 合
- ・ 9:00～ 競 技 開 始
- ・ 12:00～ 表 彰 式・閉 会 式

競 技 日 程

－ 7 月 1 3 日（日）－

<カヌースプリント 成年男女・少年男女>

○ 9:00 ～ 競技開始

レース 番 号	時 間	種 別	種 目	区 分	備 考
1	9:00	成年女子	カナディアン シングル	決 勝	
2	9:10	少年男子	カナディアン シングル		
3	9:20	少年女子	カヤック シングル		
4	9:30	成年男子	カナディアン シングル		
5	9:40	少年男子	カヤック ペア		
6	9:50	少年男子	カナディアン ペア		
7	10:00	少年女子	カヤック ペア		
8	10:10	少年男子	カヤック シングル		
9	10:20	少年女子	カヤック フォア		
10	10:30	成年女子	カヤック シングル		
11	10:40	成年男子	カヤック シングル		

○12:00 ～ 表彰式 ・ 閉会式 大会本部前

競 技 組 合 せ 表

レース番号 1 成年女子カナディアン シングル 【決 勝】

1	菅	原	彩	花	(長野県)
2	沖	野		星	(新潟県)
3	久	保	美	乃	(福井県)
4	平	井		杏	(富山県)

レース番号 2 少年男子カナディアン シングル 【決 勝】

1	宮	元	叶	大	(石川県)
2	田	中	智	大	(福井県)
3	碓	井	悠	仁	(富山県)
4	佐	野	巧	真	(新潟県)

レース番号 3 少年女子カヤック シングル 【決 勝】

1	大	辻	彩	夏	(福井県)
2	飯	田	綺	良	(新潟県)
3	吉	本	心	采	(石川県)

レース番号 4 成年男子カナディアン シングル 【決 勝】

1	堀	川	裕	輝	(福井県)
2	鈴	木	典	太郎	(新潟県)
3	鳥	取	一	吹	(富山県)

レース番号 5 少年男子カヤック ペア 【決 勝】

1	寺	尾	和	真・坂	内	勝	馬	(新潟県)
2	野	村	竜	馬・上	田	雷	貴	(富山県)
3	有	山		怜・葛	野	倭	太	(石川県)
4	辻		梓	臣・越	智	海	成	(福井県)

レース番号 6 少年男子カナディアン ペア 【決 勝】

1	高	木	桜	雅・原	田	悠	真	(富山県)
2	四	方	嵩	人・村	田	流	潮	(福井県)
3	唐	澤	丈	二・後	藤	大	翔	(新潟県)

レース番号 7 少年女子カヤック ペア 【決 勝】

1	井	上	心	絆・杵	鞭	瑠	良	(新潟県)
2	松	井	琴	音・中	川	暢	乃	(富山県)
3	伊	藤	紫	世・岡	田	愛	輝	(福井県)

レース番号 8 少年男子カヤック シングル 【決 勝】

1	齋	藤	礼	央	(富山県)	
2	上	垣	亮	太	(長野県)	
3	長	谷	川	世	成	(新潟県)
4	森	田	遼	太郎	(石川県)	
5	長	谷	川	空	飛	(福井県)

レース番号 9 少年女子カヤック フォア 【決 勝】

1	酒	井	星	璃・筒	井	陽	歩	(富山県)
	武	田		夢・宮	田		想	
2	川	端	千	斐・尾	嶋	更	紗	(石川県)
	新	保	百	夏・長	戸		ひなた	
3	下	迫	茉	愛・辻		桃	奈	(福井県)
	廣	部	裕	奈・西	田	琴	美	
4	高	濱		萌・平	原	陽	葵	(新潟県)
	関	谷	柚	月・新	川	友	羽可	

レース番号 10 成年女子カヤック シングル 【決 勝】

1	中	川	紗耶	香	(石川県)
2	吉	村		空	(福井県)
3	細	見	茉	弥	(長野県)
4	浦	田	樹	里	(富山県)

レース番号 11 成年男子カヤック シングル 【決 勝】

1	酒	井	悠	弦	(長野県)
2	久	保	領	雄音	(石川県)
3	下	川	拓	樹	(新潟県)
4	吉	村	颯	人	(福井県)
5	酒	井	海	倫	(富山県)

競 技 成 績

レース番号 1 9:00 成年女子カナディアン シングル 決 勝

レーン	県 名	ゼッケン	選 手 名	タ イ ム	順位	備 考
1	長野県	3	菅 原 彩 花	‘ “		
2	新潟県	2 4	沖 野 星	‘ “		
3	福井県	8	久 保 美 乃	‘ “		
4	富山県	5 2	平 井 杏	‘ “		

レース番号 2 9:10 少年男子カナディアン シングル 決 勝

レーン	県 名	ゼッケン	選 手 名	タ イ ム	順位	備 考
1	石川県	4 3	宮 元 叶 大	‘ “		
2	福井県	1 2	田 中 智 大	‘ “		
3	富山県	5 6	碓 井 悠 仁	‘ “		
4	新潟県	2 8	佐 野 巧 真	‘ “		

レース番号 3 9:20 少年女子カヤック シングル 決 勝

レーン	県 名	ゼッケン	選 手 名	タ イ ム	順位	備 考
1	福井県	1 5	大 辻 彩 夏	‘ “		
2	新潟県	3 1	飯 田 綺 良	‘ “		
3	石川県	4 4	吉 本 心 采	‘ “		

レース番号 4 9:30 成年男子カナディアン シングル 決 勝

レーン	県 名	ゼッケン	選 手 名	タ イ ム	順位	備 考
1	福井県	6	堀 川 裕 輝	‘ “		
2	新潟県	2 3	鈴 木 典 太 郎	‘ “		
3	富山県	5 0	鳥 取 一 吹	‘ “		

レース番号 5 9:40 少年男子カヤック ペア 決 勝

レーン	県 名	ゼッケン	選 手 名	タ イ ム	順位	備 考
1	新潟県	2 6	寺 尾 和 真	‘ “		
		2 7	坂 内 勝 馬			
2	富山県	5 4	野 村 竜 馬	‘ “		
		5 5	上 田 雷 貴			
3	石川県	4 1	有 山 怜	‘ “		
		4 2	葛 野 倅 太			
4	福井県	1 0	辻 梓 臣	‘ “		
		1 1	越 智 海 成			

レース番号 6 9:50 少年男子カナディアン ペア 決 勝

レーン	県 名	ゼッケン	選 手 名	タ イ ム	順位	備 考
1	富山県	57 58	高 木 桜 雅 原 田 悠 真	‘ “		
2	福井県	13 14	四 方 嵩 人 村 田 流 潮	‘ “		
3	新潟県	29 30	唐 澤 丈 二 後 藤 大 翔	‘ “		

レース番号 7 10:00 少年女子カヤック ペア 決 勝

レーン	県 名	ゼッケン	選 手 名	タ イ ム	順位	備 考
1	新潟県	32 33	井 上 心 絆 杵 鞭 瑠 良	‘ “		
2	富山県	59 60	松 井 琴 音 中 川 暢 乃	‘ “		
3	福井県	16 17	伊 藤 紫 世 岡 田 愛 輝	‘ “		

レース番号 8 10:10 少年男子カヤック シングル 決 勝

レーン	県 名	ゼッケン	選 手 名	タ イ ム	順位	備 考
1	富山県	53	齋 藤 礼 央	‘ “		
2	長野県	4	上 垣 亮 太	‘ “		
3	新潟県	25	長 谷 川 世 成	‘ “		
4	石川県	40	森 田 遼 太 郎	‘ “		
5	福井県	9	長 谷 川 空 飛	‘ “		

番号 9 10:20 少年女子カヤック フォア 決 勝

レーン	県 名	ゼッケン	選 手 名	タ イ ム	順位	備 考
1	富山県	6 1 6 2 6 3 6 4	酒 井 星 璃 筒 井 陽 歩 武 田 夢 宮 田 想	‘ “		
2	石川県	4 5 4 6 4 7 4 8	川 端 千 斐 尾 嶋 更 紗 新 保 百 夏 長 戸 ひ なた	‘ “		
3	福井県	1 8 1 9 2 0 2 1	下 迫 茉 愛 辻 桃 奈 廣 部 裕 奈 西 田 琴 美	‘ “		
4	新潟県	3 4 3 5 3 6 3 7	高 濱 萌 平 原 陽 葵 関 谷 柚 月 新 川 友 羽 可	‘ “		

レース番号 10 10:30 成年女子カヤック シングル 決 勝

レーン	県 名	ゼッケン	選 手 名	タ イ ム	順位	備 考
1	石川県	3 9	中 川 紗 耶 香	‘ “		
2	福井県	7	吉 村 空	‘ “		
3	長野県	2	細 見 茉 弥	‘ “		
4	富山県	5 1	浦 田 樹 里	‘ “		

レース番号 11 10:40 成年男子カヤック シングル 決 勝

レーン	県 名	ゼッケン	選 手 名	タ イ ム	順位	備 考
1	長野県	1	酒 井 悠 弦	‘ “		
2	石川県	3 8	久 保 領 雄 音	‘ “		
3	新潟県	2 2	下 川 拓 樹	‘ “		
4	福井県	5	吉 村 颯 人	‘ “		
5	富山県	4 9	酒 井 海 倫	‘ “		

監 督 ・ 選 手 名 簿

県名	監督氏名 (所 属)	種 別	ゼ ン	種目	選手氏名	所 属
長野県	武 江 一 (長野県立 池田工業高等学校)	成年男子	1	K-1	酒 井 悠 弦	長野県競技力向上対策本部
		成年女子	2	K-1	細 見 茉 弥	長野県競技力向上対策本部
			3	C-1	菅 原 彩 花	長野県競技力向上対策本部
		少年男子	4	K-1	上 垣 亮 太	長野県篠ノ井高等学校犀峽校
福井県	濱 野 早 紀 (福井県立 金津高等学校)	成年男子	5	K-1	吉 村 颯 人	立命館大学
			6	C-1	堀 川 裕 輝	福井工業大学
		成年女子	7	K-1	吉 村 空	福井県カヌー協会
			8	C-1	久 保 美 乃	(株) 松川レピヤン
		少年男子	9	K-1	長谷川 空飛	福井県立金津高等学校
			10	K-2	辻 梓 臣	福井県立金津高等学校
			11	K-2	越 智 海 成	福井県立金津高等学校
			12	C-1	田 中 智 大	福井県立金津高等学校
			13	C-2	四 方 嵩 人	福井県立金津高等学校
			14	C-2	村 田 流 潮	福井県立金津高等学校
			15	K-1	大 辻 彩 夏	福井県立金津高等学校
		少年女子	16	K-2	伊 藤 紫 世	福井県立金津高等学校
			17	K-2	岡 田 愛 輝	福井県立金津高等学校
			18	K-4	下 迫 茉 愛	福井県立金津高等学校
			19	K-4	辻 桃 奈	福井県立金津高等学校
			20	K-4	廣 部 裕 奈	福井県立金津高等学校
			21	K-4	西 田 琴 美	福井県立金津高等学校
新潟県	澁 谷 毅 (新潟市立 万代高等学校)	成年男子	22	K-1	下 川 拓 樹	新潟県カヌー協会
			23	C-1	鈴木 典太郎	大正大学
		成年女子	24	C-1	沖 野 星	東京女子体育大学
		少年男子	25	K-1	長谷川 世成	新潟市立万代高等学校
			26	K-2	寺 尾 和 真	新潟市立万代高等学校
			27	K-2	坂 内 勝 馬	新潟市立万代高等学校
			28	C-1	佐 野 巧 真	新潟市立万代高等学校
			29	C-2	唐 澤 丈 二	新潟市立万代高等学校
			30	C-2	後 藤 大 翔	新潟市立万代高等学校

		少年女子	31	K-1	飯 田 綺 良	新潟市立万代高等学校
			32	K-2	井 上 心 絆	新潟市立万代高等学校
			33	K-2	杵 鞭 瑠 良	新潟市立万代高等学校
			34	K-4	高 濱 萌	新潟県立分水高等学校
			35	K-4	平 原 陽 葵	新潟県立分水高等学校
			36	K-4	関 谷 柚 月	新潟県立分水高等学校
			37	K-4	新川 友羽可	新潟県立分水高等学校
石川県	山 作 直 弘 (石川県立 小松商業高等学校)	成年男子	38	K-1	久保 領雄音	(株)セールスフォース・ジャパン
		成年女子	39	K-1	中川 紗耶香	山崎金属産業株式会社
		少年男子	40	K-1	森田 遼太郎	石川県立小松商業高等学校
			41	K-2	有 山 怜	石川工業高等専門学校
			42	K-2	葛 野 倖 太	石川県立小松商業高等学校
		少年女子	43	C-1	宮 元 叶 大	小松市立南部中学校
			44	K-1	吉 本 心 采	小松大谷高等学校
			45	K-4	川 端 千 斐	小松市立高等学校
			46	K-4	尾 嶋 更 紗	小松市立高等学校
			47	K-4	新 保 百 夏	石川県立小松商業高等学校
			48	K-4	長戸 ひなた	石川県立小松商業高等学校
富山県	松 崎 陽 祐 (富山県立 富山北部高等学校)	成年男子	49	K-1	酒 井 海 倫	鹿屋体育大学
			50	C-1	鳥 取 一 吹	大正大学
		成年女子	51	K-1	浦 田 樹 里	早稲田大学
			52	C-1	平 井 杏	上市町立上市中学校
		少年男子	53	K-1	齋 藤 礼 央	上市町立上市中学校
			54	K-2	野 村 竜 馬	富山県立富山北部高等学校
			55	K-2	上 田 雷 貴	富山県立富山北部高等学校
			56	C-1	碓 井 悠 仁	上市町立上市中学校
			57	C-2	高 木 桜 雅	富山県立富山北部高等学校
			58	C-2	原 田 悠 真	富山県立富山北部高等学校
		少年女子	59	K-2	松 井 琴 音	富山県立富山北部高等学校
			60	K-2	中 川 暢 乃	上市町立上市中学校
			61	K-4	酒 井 星 璃	富山県立富山北部高等学校
			62	K-4	筒 井 陽 歩	富山県立富山北部高等学校
			63	K-4	武 田 夢	富山県立富山北部高等学校
			64	K-4	宮 田 想	富山県立富山北部高等学校

カヌー競技の見方

カヌー競技の現状

昭和 39 年（1964 年）東京オリンピックのカヌー競技に日本が初めて参加して以来、カヌースポーツに対する国民の関心が高まってきました。

もともとカヌーは、私たちの祖先が海・湖沼などで物資輸送や交通手段、そして狩猟に使用するなど生活に欠かせない道具として、大切にされてきました。

そのようなことから歴史は古く、いろいろなスポーツよりも人々に親しまれています。特に、欧州各国での普及はめざましく、1924 年パリオリンピックで公開競技、1936 年ベルリンオリンピックから正式競技に採用され、世界でも最も普及したスポーツとなっています。

近年は、自然と親しむアウトドアスポーツとしても注目を集め愛好者も増えて、生涯スポーツとして盛んに行われています。我が国においては、日本カヌー連盟を中心として全国各都道府県にカヌー協会が設置されています。国民体育大会（現国民スポーツ大会）には、昭和 57 年第 37 回国民体育大会（島根県）より正式競技として採用され、全国に充実発展しています。

カヌーの概要

カヌーには、カヤック（K）とカナディアン（C）の 2 種類があります。カヤックは、艇の中央部に座り、パドル（櫂・かい）の両端にあるブレード（水かき）で、左右交互に水をかきながら艇を進めます。また、カナディアンは、立てひざもしくは片ひざの姿勢を保ち、片側にブレードのついたパドルを操作し進みます。スプリント艇（カヤックのみ）のみ、足で舵（かじ）を操作しながら方向を整えますが、それ以外はすべてパドルを操作し、方向を整えながら進みます。

ボートとカヌーの違いは、ボートはリガー（オールを固定する場所）が取り付けられているのに対し、カヌーはどのタイプもパドルが固定されていません。そのため、ボートは後ろ向きに漕ぎ推進させますが、カヌーはすべて前向きに漕ぎ推進させます。

カヌー競技の種目と種別

国民スポーツ大会の競技には、静水面で行う「カヌースプリント競技」と河川の急流で行う「カヌースラローム競技」「ワイルドウォーター競技」の 3 種目があります。

各種目とも、選手は（A）・（B）に参加できることになっています。

- ・カヌースプリント (A) 500m (B) 200m
- ・カヌースラローム (A) 15 ゲート (B) 25 ゲート
- ・カヌーワイルドウォーター (A) 1500m (B) スプリント

カヌースプリント

流れのない河川・湖沼・港湾等を利用し、一定の距離とレーン（水路）を決めて着順を競います。

ICF（国際カヌー連盟）の競技規則の改定に伴い、種目名称及び略称の変更が行われ、平成 21 年 4 月 1 日から「フラットウォーターレーシング（FWR）」から「カヌースプリント（SP）」となりました。

当初は、国体におけるレースは距離が 500m のみで行われていましたが、第 43 回大会から 300m 競技が加わり、それぞれの選手がこの 2 つの距離に参加できるようになりました。第 49 回大会から、300m が 200m に変更されました。コースは公認された幅 9 m × 9 レーンで、障害のない直線となっています。

国スポでの競技種目は、成年男子が K-1（一人乗り）、C-1（一人乗り）の 2 種目、成年女子は K-1、C-1 の 2 種目、少年男子が K-1、K-2（二人乗り）、C-1、C-2（二人乗り）の 4 種目、少年女子が K-1、K-2、K-4（四人乗り）の 3 種目、合計 11 種目となっています。

ただし、K-4 は少年男子と少年女子が隔年（偶数年は男子、奇数年は女子）で行われており、成年女子の C-1 は第 72 回愛媛国体から追加されました。

カヌースラローム

カヌーを使った回転競技で、変化に富んだ流れのある河川で行う競技です。

ICF（国際カヌー連盟）の競技規則の改定に伴い、種目名称及び略称の変更が行われ、平成21年4月1日から「スラロームレーシング（SLR）」から「カヌースラローム（SL）」となりました。

ダウンストリームゲート（こぎ下り：緑と白のポール）とアップストリームゲート（こぎあがり：赤と白のポール）を、パドルを使ってポールに触れないように通過し、その速さを競います。国スポでは25ゲートと15ゲートで競技が行われ、コースの距離は150m～400m以内でゲートが設定されます。順位は、スタートからゴールまでの所要タイムに、各ゲート通過時のペナルティ（罰点）を加えて決定します。したがって、点数の少ない方が上位となります。各選手は2回漕行し、そのうち良い方の成績で順位付けがされます。

これまではK（カヤック）種目だけが実施されていましたが、第72回愛媛国体からC（カナディアン）種目が追加されました。

◎ゲート通過時のペナルティ

- 正しく通過・・・・・・・・・・0点
- 1本又は2本のゲートに触れる・・・・・・・・2点
- 不通過・・・・・・・・・・50点

◎成績の計算例

- スタートからゴールまでのタイム(3分30秒として)・・・・・・・・3分30秒=210点(1秒を1点)
- ペナルティ(罰点)：ポールに接触1カ所、不通過1カ所として・・・・・・・・2点+50点=52点
- 成績(タイムとペナルティの合計)・・・・・・・・210点+52点=262点

カヌーワイルドウォーター

岩などの障害をかわしながら、流れの激しい河川を一気に漕ぎ下る競技で、順位は所要タイムで決定されます。

ICF（国際カヌー連盟）の競技規則の改定に伴い、種目名称及び略称の変更が行われ、平成21年4月1日から「ワイルドウォーターレーシング（WWR）」から「カヌーワイルドウォーター（WW）」となりました。

競技は、1500mとスプリント（スラロームのコースを使用。コース長は300m～600m）の2つの距離で行われ、デモンストレーション、ノンストップトレーニング（練習、1500mのみ）に続いて、1500mでは1回、スプリントでは2回（成績は2回のうち良い方で順位付けされる）の試技が行われます。

競技会場位置図



宿 舎 一 覧 表

県 名		宿 舎 名	所在地	電 話
長野県	全種別	ルートイングランティア小松 エアポート	石川県小松市長崎町 4-116-1	050-5847-7505
福井県	全種別			
新潟県	全種別			
富山県	全種別			

会 場 最 寄 医 療 機 関

南加賀急病センター 石川県小松市向本折町ホ 60 番地

土曜 19:00～22:30 日曜 9:00～12:00 13:00～22:30

TEL 0761-22-7111

※受診の際は、事前に電話にて確認をお願いします。

競 技 会 本 部

石川県小松市「木場潟カヌー競技場」

富山県カヌー協会 水野 浩

TEL 090-3296-8003

競 技 会 場 連 絡 担 当 者

木場潟カヌー競技場本部

富山県カヌー協会 水野 浩

携帯 090-3296-8003

大 会 本 部

第46回北信越国民スポーツ大会実行委員会事務局

公益財団法人富山県スポーツ協会内

TEL 076-461-7138

FAX 076-461-7139